

地域防災力を向上させる意識啓発及び住民活動の支援 景観と Universal Design を両立する建築・都市空間のデザイン



(ふりがな) 氏名	えもと あけみ 江本 晃美	E-mail	emoto@tokuyama.ac.jp
		電話番号	0834-29-6329
		FAX 番号	
職名	准教授	学位・資格	博士(工学) 防災士
所属学会・協会	日本建築学会・日本都市計画学会・A I U・日本防災士会 等		

地域支援可能シーズの名称および概要

Design for resilience, disaster prevention, beautiful city... approach to social problem

1) 地域防災力の向上を目指した住民活動支援

地域防災力を高める自助(自分で身を守る)、共助(助け合って助かる)を、「どれだけ実践できるか」には、人の意識と知識と工夫が必要です。より多くの人々が地域の人材となれるよう、必ず役立つレクチャーの提供と地域防災のお悩み相談を通じて、支援を行います。また、体系的自助としての地域防災訓練のプロデュースも可能です。

2) 外国人居住者に対するコミュニティ活動の推進と災害時の情報提供支援

オリンピックのような一過性の対応ではなく、多様な人が一緒に地域を支えていくために、コミュニティ活動(まちづくり・地域づくり)が益々重要ですが、お互いを理解し始めるには、1つのきっかけや場が重要です。言語の違いを超えて、コミュニケーションを行うために、「ピクトグラムを活用したコミュニケーションゲーム」を通じて交流や意見交換をすることができます。同時に、災害時に言葉や個人に左右されない情報伝達ツールとして、ピクトグラムを活用できます。

3) Universal な地域社会の実現する Design

新たな障壁 = バリアを生むのではなく、「本質的な使いやすさ」をプライベートな空間や公共施設だけでなく、あらゆるものに適用するようにデザインすることが重要です。安心で安全な街路空間や施設を、特別ではなく「標準化」するために、建築設計や公園を含むアメニティ空間を中心にデザインします。

4) 景観まちづくりと地域問題解決を両立するまちづくり活動支援

多くの地域は、フラットな関係で誰もがアイデアを出し合い、自立的に地域を改善していきたいものですが、現在まで健全に運営することは難しいときが多々ありました。これらをファシリテートし、地域活動や連携を円滑にするまちづくりコーディネートを行います。

5) 特別支援をはじめとする新しい教育環境の開発

e-learning や active learning、多様な学びの形が日進月歩で生まれている今日、自由度を持った自立的な学習を経験する子どもたちが育っています。色々な個性を持つ子どもたちを画一的ではなく、受容しながら、リラックスしながら学べる環境をミニシェルターやミニスペースデザインで提供します。



適用実績

- 歴史的景観地区における住民ワークショップによる公園の設計
- 福井県における地域防災力向上のためのレクチャー及び講演(企業向けBCP講座含む) 他
- 東海、北陸地方における景観と安全性を両立した街路空間の評価と整備施策案づくり、景観計画策定委員 他
- 安心安全、美しい都市づくりのための街路樹整備のガイドライン策定
- 織田氏一族発祥の地・越前織田地区の劔神社周辺の景観を中心としたまちづくりのコーディネート 他

提供可能な設備・機器・解析ソフト・教材・ビデオ・PPT等の名称・型番(メーカー)及び概要

D I G教材及びレクチャー	
H U G(静岡版改良型)教材及びレクチャー	
色彩に関する見本及びセンサー	
小型GPS装置	